



～令和6年度第2回コア会議が開催されました～

令和6年10月17日(木)に「公園マネジメント会議 令和6年度第2回コア会議」が地球市民交流センターにて開催され、コア会員16団体のうち11団体が出席し、コア会議は成立しました。

前回のふりかえりと「夏休み特別企画」開催結果の報告、「公園マネジメント会議のあゆみ」(前編)の紹介が行われました。また、第1回コア会議でのグループワークの結果を踏まえ、今後の活動を見据えて「公園マネジメント会議としてどのような取り組みができるのか」をテーマに、グループワークにより活発な意見交換が行われました。



前回のふりかえり

●第1回コア会議(7/30開催、第84号かわらばん参照)のふりかえりで、分科会の承認や会員情報の共有に向けた照会内容、駐車場許可証の有効性を検証するアンケートの確認、グループワークの発表内容について事務局より報告がありました。

ジブリパークのあるモリコロパークの活性化

●8月14日(水)、15日(木)の「夏休み特別企画」開催結果について事務局より報告がありました。

【アンケート結果についての考察】「夏休み特別企画」参加者アンケート結果より

本企画は公園マネジメント会議からのおもてなしとして、主に県外の方(一般県民を含む)の満足度向上へ寄与するものであったと言える。また、ジブリパークを目的とする来園者(時間的制約があり、主に県外の方が対象)に対して行う企画であるならば、ワークショップの内容等をおもてなしの観点から見直す(改善する)ことで、より体験者が増え、公園利用者の満足度向上へ寄与するものとなる。ワークショップの内容は、時間を掛けずに体験でき、愛知県(モリコロパーク)をPRできる内容を取り込む等も検討材料の一つとなると考えられる。

【公園マネジメント会議の活動の需要及び地球市民交流センターでの今後の展開について】

本企画の目的である、ジブリパークを目的に来園された方に対して、本会議の活動の需要についての検証結果は、夏休み(お盆休み)を利用した県外からの来園者が多い時期においては、大いに需要のある結果となった。なお、今後の休み期間(冬休み、春休み)においても、継続して県外から初めての来園者は見込める。また、今後の地球市民交流センターでの展開は、本企画の開催結果のみでは考察が難しく、今後も継続して、ジブリパークのあるモリコロパークの活性化に向けた取り組みの一つとして、ジブリパークに隣接する場所において展開していくことで実績をつくり、その上で地球市民交流センターでの展開について、考察するべきものであると考えられる。

<意見交換>

- 実際に間伐材を使ったオリジナルボールペンづくりの活動をされてどうだったか。
 - 来園した思い出として持ち帰りができるモノがあると参加しやすいと感じたので、今後も提案していきたい。SNSを使ってもっと発信していくとよい。ただ、参加企画が2団体では寂しい。もっと賑やかさが欲しかった。
 - 事務局は、「夏休み特別企画」をやる上で、会員さんに周知をして声掛けをしたが、お盆ということもあり、あまり反応が良くなかった。
- アンケート結果より、県外から家族と一緒に自家用車で来園される方が多い傾向が分かったが、県民に向けても楽しみの拠点であるモリコロパークのありよう(企画やサービス)を考えていく必要がある。

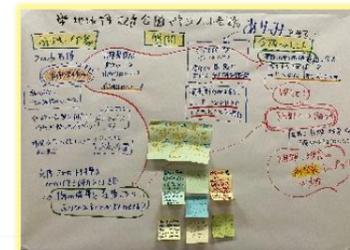


「公園マネジメント会議のあゆみ」の紹介(前編)

●これからの公園マネジメント会議の展望のヒントとするために作られた「公園マネジメント会議のあゆみ」(前編)について事務局より紹介がありました。紹介後、各自付箋に思ったことや感想を書き出してもらいました。

<意見交換>

- これまでの実績の確認と、過去に形にしてきたものを共有するため「あゆみ」を紹介する場を設けた。
- 「平日の利用促進」については過去に結論が出たと思うが、問題は解決していないと思う。もっと突き詰める必要がある。
 - 解決したかどうかも検証する必要がある。当時のルール等で解決できるのか、新しい視点で違う目標を設定して解決するのか、課題の設定と解決について厳密に確認しながら進めていく必要がある。
- 課題が大きく、広すぎて、公園マネジメント会議のあり方とやることを同時進行でやっていくのは分かりにくいし、時間が足りない。
- 年度ごとに目標を掲げて、時間軸で整理していく必要がある。一つ一つが解決に向かうイメージが持てるのが大事である。
- 第3回コア会議で「あゆみ」の後半部分を紹介し、今回出た意見を踏まえて整理していく。



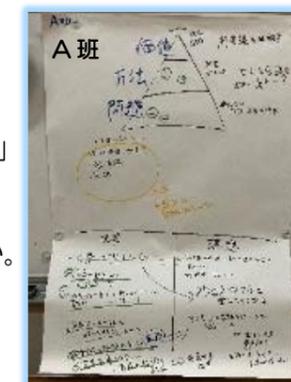
グループワーク

●より具体的に公園マネジメント会議として「どのような取り組みができるのか」を、今後の活動を見据えてグループワークを行いました。

(グループワーク意見・発表)

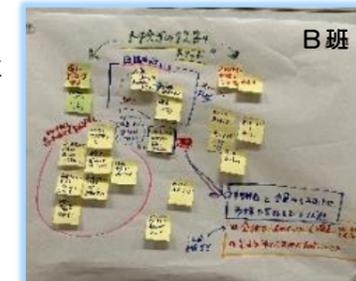
【A班】

- 3つの階層で話し合いのフレーム(ピラミッド)づくりを行った。①(上)理念・目的に沿った話をする部分 ②(真ん中)コア会議の運営等について話し合う部分 ③(下)具体的な問題を話し合う部分、以下の意見をこのフレームに振り分けた。
- (下)会員が減少してきているので、「駐車場が無料で使用できる」、「予約が早く取れる」といったメリットを前面に打ち出して人を集めてもいい。
- (下)今のマネジメント会議は、自分たちのイベント活動を行いたい人が多くなっている。運営側が理念を押し付けていて、そのギャップが会員減少につながっているのではないか。
- (上)コア会員になると半強制的に参加しないと行けなくなって、タスクを課せられている感じがする。
- 自分たちの活動がもっとやりやすくなるような話し合いをしたい。県がオブザーバー的な立場だと上手くいくのではないか。



【B班】

- 「マネジメント会議の役割・メリット」…①会員1人ではできないことを「みんなでやれる」ことが魅力である。②仕組みやルールづくりを「県にアプローチ」しながらつくっていく。
- 「会が目指すべきところ」…会員のWIN・利用者のWIN=利用者満足度の向上。
- 「一体感が出ない要因」:「会員」も「利用者」も多様であり、ひとくくりにはいけない。
- 会員によってWINは異なり、今の会員はかなりバラつきがある。収益重視の会員の方とそれ以外の会員の方の共存が難しく課題である。県内・県外、ターゲット層も変わる中で、WIN同士を結びつけるのはかなり難しい。それでは一体感が出ない。
- 「利用者」…①ジブリ客 ②イベント利用客 ③公園の常連客 ④マネジメント会員に分けられ、「これらの利用者に対して何をすべき」という分析的にアプローチしていく必要がある。
- 「会員」…①「万博派」 ②他力本願型(おまつり便乗派) ③事業系イベント派に分けられ、ひとまとまりにならない。
- 「利用者」も「会員」ひとくくりにはできないことが理解できたのが最大の発見なので、これを土台していきたい。



次回以降、こういった内容について話し合っていくのが明確にした上でまとまった時間をとりたい。

お問い合わせ先 公園マネジメント会議 HP <https://www.pref.aichi.jp/soshiki/koen/koenmng.html>

愛知県都市・交通局都市基盤部 公園緑地課(協働グループ) 〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号 TEL: 052-954-6491 FAX: 052-953-5329	公益財団法人愛知県都市整備協会 愛・地球博記念公園管理事務所 〒480-1342 長久手市茨ヶ廻間乙1533-1 TEL: 0561-64-1130 FAX: 0561-61-2150
--	---